

事業名：事業名：産学連携洋上風力人材育成コンソーシアム(IACOW)による洋上風力に係る新たな大学教育の「しくみとカリキュラム」構築・実証事業(Step2②)



R7年度は、「カリキュラム」においては、大学院の正規科目として4科目を実施し単位互換も開始した。「しくみ」については、フィールドワーク国内4か所、海外調査1か所の実施ほか、合同インターンシップなど新たな取組を試行した。メンバー8大学以外も含む学生ネットワーク参加学生は100名を超え、セミナー等を通じ472名の学生に学びの機会を提供した。共同研究も3件創出された。

■ IACOW洋上風力連携講座と単位互換制度の運用

産学のコンソーシアムで検討し準備を進めてきた7科目を「IACOW洋上風力連携講座」としてまとめ、単位互換協定を締結することによって、他大学の科目も研究科の学生が修了単位として履修できるようになった。R7年度は、長崎大学・秋田大学・秋田県立大学・新潟大学が単位互換協定に参加した。総合大学を中心に他大学も学内手続きを進めており、次年度以降、順次参加拡大予定である。新たに浮体式の科目も検討し、8科目からなる連携講座とすることとした。

R7年度 IACOW洋上風力連携講座

●履修対象研究科(単位互換制度利用)

- ・長崎大学 総合生産科学研究科
- ・秋田大学 理工学研究科
- ・秋田県立大学 システム科学技術研究科
- ・新潟大学 自然科学研究科

	実 施 内 容	開講時期	開 講 大 学	単位取得人数
1	風車工学	開講	秋田県立大学	43名
2	漁業共生・ステークホルダーマネジメント	開講	秋田大学	4名
3	発電所運用・メンテナンス	開講	長崎大学	25名
4	ビジネス・イノベーション	R9年度(予定)	千葉大学	—
5	プロジェクトマネジメント	R9年度(予定)	北九州市立大学	—
6	金融・保険・法務	R9年度(予定)	北九州市立大学	—
7	エネルギー政策・制度	開講	長崎大学	14名
8	浮体式洋上風力(仮称)	R8年度 開講	長崎大学	—

単位互換大学間では、共通の履修ガイドを作成、学生の履修登録を促した。産学の連携による講座開設であることについても学生に周知した。単位取得者には、洋上風力分野の専門科目を履修し単位を取得したことを示す大学連携型の修了証を発行し、学生の学びの履歴を見える化する。



■ 産学が協力し、フィールド研修や合同インターンシップ等を試行した。座学だけではない産業界と結びつく「しくみ」の試行を実施した。

フィールドモデル研修の試行においては、複数大学の合同による実施が定着し、企業の実課題に触れるとともに、他大学の学生間での交流の機会も進んだ。合同インターンシップにおいては、メンバー企業8社が参加し、3か月間の期間を設定し、学生の洋上風力分野の研究をサポート。東京に集合(一部オンラインも活用)し、複数大学と複数企業による合同インターンシップを試行した。共同研究等も3件が新たに創出された。

➤フィールドワーク研修試行 4件実施

- 銚子沖洋上風力発電現地研修モデルプラン 18名参加
- 長崎五島フィールドワーク 8名参加
- 北九州洋上風力キャンプ 15名参加
- 秋田学生ワークショップ 33名参加
- (スコットランド調査 教員1名(自主財源))

➤合同インターンシップの実施

9組10名の参加者



■ メンバー8大学にとどまらない学生への啓発と学びの機会の提供

学生ネットワークには、25大学、2高専から103名(2026.2.25現在)が参加し、IACOWの企画への参加や情報交換が始まっている。海洋教育フォーラム、グローバルオフショアウィンドサミット等、年間をととした活動により472名に学びの機会を提供した。

試行活動名	実施日	実施内容	学生参加人数 (人)
企業研究会・特別招待(計16社)講演招待(長崎大学リアル・オンライン)	2025年6月9日-10日	ハイブリッド形式にて洋上風力に関係する企業16社から、各社の関係者についての講演。	70
海洋学際教育プログラム(東京大学)	2025年7月14日	海洋学際教育プログラムにて連携を行った。東京大学44名。	44
第12回 長崎大学海洋未来イノベーション機構(OIMST)東京セミナー	2025年9月16日	洋上風力分野に注力する大学と産業界のさらなる連携と、提携セミナー開催。	6
WIND EXPO	2025年9月17日-18日	電力発電展、長崎大学5名。	5
海洋教育フォーラム、秋田	2025年10月15日	洋上風力の安全対策・リスク低減策と関連して、海洋教育フォーラムを開催。	2
グローバルオフショアウィンドサミット 開催説明会(秋田)	2025年10月15日	ハイブリッド形式にて洋上風力に関係する企業8社が各社の関係者を招き。	8
グローバルオフショアウィンドサミット 産学交流会(秋田)	2025年10月16日	IACOWの企画でカンファレンスプログラムとして企画された。洋上風力発電関連事業者が、秋田・青森両県にある企業と対しての産学交流の機会を提供した。参加者5名。	2
洋上風力発電事業の研究交流会(東京)	2025年10月24日-25日	東京における洋上風力発電事業の発展を目的として、洋上風力発電事業の発展を目的として実施。	10
IACOWの企画 大学間インターンシップ(ニース)ニースマッピング(試行)	2025年11月	ニースにおける洋上風力発電事業の発展を目的として、洋上風力発電事業の発展を目的として実施。	93
インダストリアル・イノベーション・センター(秋田)	2025年12月8日	インダストリアル・イノベーション・センター(秋田)利用、長崎大学3名、9名。	46
海洋教育フォーラム、長崎(リアル・オンライン)	2025年12月13日	洋上風力の安全対策・リスク低減策と関連して、海洋教育フォーラムを開催。その際、秋田県立大学と長崎大学が共同で主催し、秋田県立大学と長崎大学と連携して実施した。	2
スコットランド研修報告会	2026年1月26日-27日	スコットランドでの研修を想定し、現地コーディネーターと連携し、開催。長崎大学2名。	3
カーボントラストによるフューチャー企画	2026年1月28日	洋上風力市場の最新情報を学生に提供。長崎大学3名。	472
合計			

■ 安定と広がり求め、組織拡充を検討した。

- 事務局体制を強化するとともに、2026年度以降の5年間を見据えた産業界の連携を検討した。
- サプライチェーン企業については、参画の可能性について探索をおこなった。
- 協力機関として、JOGMECが新たに加わったほか、コンソーシアム全体ミーティングを東京でリアル開催するなど、洋上風力産業産業ビジョン第2次等を踏まえた取組の必要性について共有した。